

人気の藍染教室 “映える”作品がずらり



コロナ…かかんないように 公民館で過ごそう！！

毎月1回、小学生対象に開催している、こども教室「夢の箱」。新型コロナウイルスの影響によりずっとお休みが続いていましたが、恒例の藍染教室から再開しました。

当日は、天竺生地ランチバック、トートバック、ランチョンマットの3種類から染める作品を選び、どんな模様にしたいか、完成イメージ図を書いてもらった上で、屏風折りや絞りにした生地を紐や輪ゴムで縛る制作体験を行いました。

三密回避のため、今年は開催時間中好きな時に来る「分散来館」形式で開催しました。

藍染の液で染める作業をしていただくことは叶いませんでしたが、遠方への外出がためられる現在の情勢の影響か、昨年を大きく超える47人の参加があり、地域で安心して参加できる公民館の催しが求められていることを、スタッフ一同実感できました。

8月に開催する公民館の催しも、全て満席。大変好評をいただいています。

今後も感染防止に配慮しながら教室・イベントを行う予定です。くわしくは、公民館へお問い合わせください。



47人が参加



→夢の箱キャラクター
「夢にゃん」

黒砂文化祭・新そば発表会が中止に

10月17日(土)・18日(日)に予定されていた「第43回黒砂文化祭」ならびに「新そば発表会」は、黒砂公民館クラブ等連絡会役員と協議の結果、中止が決定しました。

新型コロナウイルスの影響により、安心・安全が確保できない状況での準備や開催が難しいとの判断から苦渋の選択となりましたが、来年度は今年分まで盛り上げて、素晴らしい文化祭が出来るよう計画したいと思います。

公民館の利用制限について

千葉市内公民館では、新型コロナウイルス感染防止の観点から、クラスター発生の大きなリスクとなる「三つの密」を避けるため、【身体接触を伴う活動】【発声を伴う活動】【飲食を伴う活動】などについて、当面の間、利用をお断りさせていただいております。最新情報は、「千葉市の公民館」ホームページや黒砂公民館Twitterも併せてご確認ください。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承ください。

黒砂公民館Twitter
↓QRコード↓



館長のトコトコ日記 ～千葉市美術館リニューアルオープン～



公民館と同じく千葉市教育振興財団が指定管理者として管理運営をしている、リニューアルオープンした千葉市美術館について、来館者からの声を紹介します。

『小学生と幼稚園児のわが子は、NHKEテレで放映中の「びじゅチューン！」を見ているので、1階さや堂ホールでの「びじゅチューン！×ちばしば なりきり美術館」に大喜び。歌川広重の《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》の、雨の線を消した絵はがきを持ち帰り、自分で雨の絵を描きこんで群馬のおばあちゃんに送ることができました。また、4階に新設された「びじゅつライブラリー(図書館)」は、子供たちが靴を脱いでゆっくりくつろげるコーナーがあります。子どもから大人まで楽しめる絵本&美術関連の本が約4,500冊配架され、親子で楽しめたそうです。体験コーナーも人気です。皆さんもぜひ千葉市美術館にご来館ください。

■拡張リニューアルオープン 開館25周年記念「帰ってきた！どうぶつ大行進」

◆会期:9月6日(日)まで ◆観覧料:一般700円、大学生500円、高校生以下無料(企画展のチケットで常設展もご覧いただけます)

■「びじゅチューン！×ちばしば なりきり美術館」

◆会期:9月6日(日)まで ◆観覧料:無料

●開館時間:10:00~18:00(金・土曜日は20:00)まで ※入場受付は閉館の30分前まで

●休館日:第1月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ●問い合わせ先:TEL221-2311